

会 議 議 事 録

1 会議名	令和8年度 第1回長岡市図書館協議会
2 開催日時	令和8年7月6日（月曜日） 午後2時から午後4時まで
3 開催場所	長岡市立中央図書館 2階 講座室1
4 出席者名	（協議会委員） 渡邊委員長、淵本副委員長、小原委員、三島委員 多田委員、中村委員、鷺頭委員、笹岡委員、藤田委員 （事務局） 教育部 江田教育部長 中央図書館 入澤館長、野村館長補佐、近藤総括副主幹、 平井庶務係長、長瀬奉仕係長、松尾総括主査 渡邊総括主査 歴史文書館 金垣館長 ミライエ長岡企画推進室 鈴木課長、井口総括主査 指定管理者 渡辺エリアマネージャー、山田統括責任者
5 欠席者名	小日向委員
6 議題	（1）正副委員長の選出 （2）報告事項 ① 令和7年度長岡市立図書館の活動評価について ② 令和8年度長岡市立図書館の運営方針について ③ 令和8年度米百俵プレイス ミライエ長岡 互尊文庫の 取り組みについて （3）協議事項 令和8年度長岡市立図書館の活動評価（案）について
7 審議結果の概要	議題（1）について 渡邊誠介委員を委員長に、淵本紀子委員を副委員長に選出した。 議題（2）について 報告事項について説明があった。 議題（3）について 事務局提案のとおり決定した。

8 審議の内容	
事務局	(1) 正副委員長の選出 これまでの協議会運営の実績を踏まえ、渡邊誠介委員を委員長に、淵本紀子委員を副委員長にお願いしたい。
委員	(異議なし、賛成の声あり)
事務局	委員長に渡邊誠介委員、副委員長に淵本紀子委員に決定する。
事務局	(2) 報告事項 ①令和7年度長岡市立図書館の活動評価について (資料1により説明) 主な質問・意見なし
事務局	②令和8年度長岡市立図書館の運営方針について (資料2により説明) 主な質問・意見は次のとおり
委員	授乳室や授乳スペースなどが利用者に十分知られていない。児童コーナーに写真や案内表示を掲示して周知してはどうか。
事務局	利用者目線での案内表示や周知方法について改めて検討し、利用促進につなげたい。
事務局	③「米百俵プレイス ミライエ長岡互尊文庫の取り組み」について ④「米百俵プレイス ミライエ長岡東館施設概要」について (資料3、3-1により説明) 主な質問・意見は次のとおり
委員	学生や若者が求める資料など、利用者のニーズを把握し、互尊文庫以外の図書館にもフィードバックしてはどうか。施設運営に反映する仕組みが必要ではないか。
事務局	市民インタビューを継続し、利用者の声を事業に反映したい。
委員	にぎわいを創出するため、新しい機能と互尊文庫との連携など考えているか。

事務局	ミライエキャンパスや、図書館の講座の開催、ミライエガーデンや中高生スペースに図書を置くなど検討中である。
委員長	長岡市の図書館は、互尊文庫以来、市民と行政と一緒に育ててきた歴史がある。市民はサービスを受け取る側でなく、産業界が関わる余地があるのではないかと。企業、高校・大学などがネーミングライツなどで主体的に関われる仕組みを検討してはどうか。
事務局	企業や団体との連携、協働事業についても研究していきたい。
事務局	(3) 協議事項 令和8年度長岡市図書館の活動評価(案)について(基本評価等)(資料4、4-1により説明) 主な質問・意見は次のとおり
委員	人口減少が進む中で、利用者数等の数値の維持はかなりの努力が必要。若年層は特に厳しい。ここまでの目標数値を達成すれば評価できるのではないかと。
委員	前回の会議後から窓口対応が以前より丁寧になったと感じる。引き続き、利用者満足度向上に努めてほしい。
委員	以前の会議で予算削減などで開館時間縮小の話があったが、その後進展はあったか。
事務局	図書館サービス機能を持続可能なものにしていくことを鑑みると、現在、利用状況分析を進めているところであるが、将来的に影響の少ないなかで、開館時間を見直さざるを得ないかなと考えている。ただしそれに代わる電子図書館や代替サービスの充実を図りたい。
委員	若年層は Instagram や TikTok の利用が圧倒的に多く、Facebook をほとんど利用していないと思うが、利用層の分析をやったうえで Facebook をやり続けているのか。Instagram や TikTok などの活用も必要ではないかと。
事務局	利用者層に応じた SNS 活用について検討したい。
委員	米百俵の精神を考えると、前回の会議で話題となった校外学習の機会がなくなるなど、教育予算の削減は憂うべきもの。教育的なサー

	ビスの充実を求める。デジタルサービスでは得られない貴重な経験も大事である。人口減少はどこでも同じ状況の中、長岡市は米百俵の精神を大切にいただき官民協力してやってもらいたい。
事務局	米百俵の精神を念頭におき、デジタル化だけでなく実体験も大切にして、市民の力を借りながらしっかりやっていきたい。
委員	前回の交付金の使い道が商品券 1 万円という形であった。議論して教育的な予算へ半分くらいとか持っていくなどできなかったのが残念。米百俵の精神を大事にして、しっかり検討してもらいたい。
事務局	これからの時代を背負っている子どもたちのために予算を確保しながら事業を進めていきたい。
委員	長岡は米百俵の精神を誇りに思っている。この精神の価値を高め、充実することで人口を増やすくらいの気概を持って取り組んでほしい。
事務局	令和 8 年度長岡市立図書館の活動評価（案）について（重点事項評価案） （資料 5 により説明） 主な質問・意見は次のとおり
委員長	広報について、ホームページ、Facebook、LINE はあるが、Instagram がないが、どう考えているか。
事務局	今後、Instagram を含め検討していきたい。
委員長	高校生が Instagram の中心だと思うので、高校生が図書委員としてここに来て情報発信してくれれば、同世代に刺さると思うので、市内の高校生たちの協力があると良いのではないかな。
委員	高校生たちは Instagram 等をネイティブに使っているなので、そこをうまく取り入れていくのが良いと思う。
委員	学校としては、学校配本や教職員への研修など、授業支援など、市立図書館との連携が大変有効である。今後も継続をお願いしたい。本に触れるよさ、楽しさを保護者にも知ってもらい、図書館へ行ってほしい。保護者への働きかけも含めた読書活動推進が必要。

委員	児童コーナーの配架について、子どもが自分で本を探して選びたくなるような、子どもでもわかりやすい配置に工夫してほしい。
委員	ミライエ東館のオープンにあわせ、イベントと人の動きをうまく組み合わせるなど、他施設との連携して、図書館の利用促進につながる活用ができるといい。
事務局	評価方法について 【資料 5 中、重点事項 6、7 は、一次評価のみとすることを提案】 意見・質問は以下のとおり
委員	学校は古い本ばかりだが、図書館の配本で新しい図書を借りることができるのでありがたい。重いタブレットを学校から毎日持って帰らなくてはならない。子どもが本を読むことも嬉しいが、家で学校のタブレットでゲームばかりやっているのも心配。紙の本がいい。
委員	自宅に小学生と保育園児がいる。学校や保育園から借りてきた本を持って帰るが一回も開かない。母親も読書を促すようなこともない。子どもだけでなく保護者の読書離れも何とかしてほしい。
事務局	その他 県と市町村の協働による市町村電子書籍システム共同導入の動きについて (資料 6 により説明) 意見・質問は以下のとおり
委員	教育現場でも、学習指導要領の作成のなかで、電子機器の活用を取り入れた学びの話が出ている。教科書のデジタル化か紙と併用するかなど、検討されている。電子書籍のプラスとマイナスの面をしっかりと検討しながらやってもらいたい。 導入されると、学校現場ではタブレットを家に持って帰れば、手軽に子どもたちも図書館の本にアクセスし読書ができるというありがたい環境になる。
委員長	AI が普及し、調査する作業がなくなった。AI の活用が進む時代だからこそ、情報の真偽を見極める力や読書習慣の重要性を伝える必要がある。電子書籍は利便性向上につながることを期待している。一方、紙の本の価値や、情報リテラシーの育成も重要である。造形大学の図書館は小説がない。電子図書館があれば学生に利用さ

事務局	れると思う。時間的にサービスの向上となる。
委員長	電子と紙の双方の長所を生かしたサービスを展開し、読書機会の充実を図りたい。
副委員長	協議事項についての質疑を終了。 全体を通しての質問・意見は以下のとおり
委員長	全体を通して、幼少期からの読書習慣形成や保護者への啓発が重要である。しっかりと子どもの目を見てお話したり、本を読んであげたりと、小さい時に親とのふれあいをしっかりとしておくことが大事だと思う。図書館の読み聞かせ活動を通じて大人になる前の子どもたちにそういったふれあいを伝えていきたいと思う。
事務局	以上で本日の議事をすべて終了する。
事務局	令和８年度の第１回長岡市図書館協議会を終了
9 会議資料 別添のとおり	